

## 環境コモンズの挑戦

①

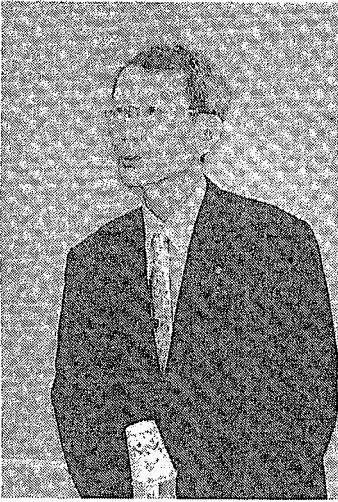
### 苫小牧フォーラムから

小磯修一・釧路公立大学長基調報告

地域の自然環境の保全と活用をテーマにしたフォーラム「環境コモンズの視点で見直す苫東の風土」(NPO法人苫東環境コモンズなど主催)が16日、苫小牧市サンガーデンで開かれた。3人の専門家の基調報告や講演の要旨を紹介する。

苫東地域は、1方杉を超える大規模な東洋一と

# 経済、環境的な価値生む空間



「コモンズは、自然を守りながら利用させてもらう仕組み」と話す小磯修一氏

自然を守りながら利用させてもらう仕組みもここに入れたらどうか。土地の重層的な利用によって環境を守り、空間の価値

た。開発計画が策定されたのは1971年。72年に推進のための会社が出来た。苫東は1方杉を越す用

マだったわけでは。その後いろいろな曲折がありました。98年に苫東が破綻(はたん)しましたが、空間そのものは変

の活用をうまく引き込むことで、苫東の新しい魅力が出てくるのではないかと。苫東が北海道にとつても経済的、環境的な意味で価値を生むのではな

月から会員募集を開始。今年度からやっと活動が始まりました。ミスナラやコナラ林の保全、フットパス(森林散策路)など市民にオープンな形で活用してもらったり、ヒグマの移動に関する情報収集や各種調査活動を、苫東の空間の中で取り組んでいくイメージです。

いう工業用地であり、一方で豊かな自然が広がる空間でもある。苫東は工場を立地するための土地だが、豊かな

葉を持つ意味です。苫東は昔、大規模工業基地と言われていまし

「コモンズは、自然を守りながら利用させてもらう仕組み」と話す小磯修一氏

地約30%が緑地として残されています。世界的にも、工業開発の利用地に30%もの緑地がある例はありませんでした。日本ですべて環境アセスメントを取り入れたのも苫小牧。いわば環境とどう向き合うかが大きなテ

わらないわけでは。苫東の空間というのを次の世代にどのようにつないでいくか。苫小牧地域の人たちだけではなく、大事なテーマです。

1方杉を越える苫東の空間には、いろいろな特徴があります。非常に土地利用規制が少なく自由度の多い空間。緑地空間

以上前から森林愛護の活動があり、遠浅自治会も森林とのかかわりを持っていました。苫東環境コモンズは今月1月に法人登記し、4か

の形で必要じゃないかと思うのです。

## まれな「工業用地に緑地3割」



### 環境コモンスの挑戦

③

### 苦小牧フォーラムから

三膳時子・NPO法人霧多布湿原トラスト理事長



釧路管内浜中町の霧多原とも呼ばれています。布湿原は3160畝の広湿原保護の活動は24年前大な湿原です。「花の湿原」から始まりました。20

00年にNPO法人となり、地主さんに「湿原を買いますので譲ってください」と手紙を出しました。大切にしています。

人と交流したいという気持ちがあるようで、わたしは、とても助かるし、24年やってこれたのは、地域の築いた信頼関係もあるから、きれいな湿原を残したい

## 増加する霧多布湿原ファン

霧多布湿原のファンは、情報発信や環境教育、や酪農家さんが説明してくれる方が、ファンづくりにとても有効です。ファンクラブが北海道、東京、鹿児島、博多にあるから、「地元」にしっかりと居てくれる方がいいのよ」と言われます。「いい方をしてきて、ツア頑張ってるね」と言うファンの応援の言葉や、個人企業の援助に支えられながらやっています。

霧多布湿原のファンは、情報発信や環境教育、や酪農家さんが説明してくれる方が、ファンづくりにとても有効です。ファンクラブが北海道、東京、鹿児島、博多にあるから、「地元」にしっかりと居てくれる方がいいのよ」と言われます。「いい方をしてきて、ツア頑張ってるね」と言うファンの応援の言葉や、個人企業の援助に支えられながらやっています。

民にすぐ顔を覚えられま霧多布へ遊びに行こうという人たちの集まりがファンクラブなんです。その期待を裏切らないよう、わたしたちも子供たちと一緒に汗を流してくれるれ、ファンがついてきたかなと思っています。わたしたちの団体の若い職員が地域に溶け込んでいくために、地元理事と一緒に行動すると、住

「ファンの力はとても大きい」と話す三膳時子氏

## 地元の人との交流を大切に

## 環境コモンズの挑戦

④

### 苦小牧フオーラムから

三膳時子 NPO法人霧多布温原トラスト理事長

霧多布を訪れるファン

クラブツアーの人たちに対しては、地元のチーズと牛乳などを使い、クラムチャウダー的なものを作っておもてなしをします。それが一番のごちそうになるんです。牧草地の片隅で、ランチを楽しみます。

海に行つてウニの漁師さんから説明を受けたら、無人島に上陸してウニむき体験とウニ丼を作つて食べるプログラムもあり、とてもぜいたくな



ツアーができるんです。

# エコツアーで地元産業も紹介

わたしたちが考えているのは、地元の産業も一緒に紹介したいということ。町の酪農と漁業を紹介して、初めてエコツアー。なんじゃないかなと思

います。産業が元気でないで、わたしたちのNPO活動はできないなと思つています。わたしたちが間に入り、地元の産業と、町への来訪者をつな

## 「子供と一緒に」の環境教育目指す

ける。それは意味があることなのでは、と考えています。

開いています。せつかく温原がある町なのだから、子供たちに教えていきたいという思いです。

わたしたちは、霧多布温原センターの指定管理者者となっています。町のお母さんたちがおいしい牛乳やコンブを売りたい

という思いがあつて、地元物産を紹介するためミュージアムショップを子供たちと一緒に見て、感じて、触れる環境教育を目指して、日々、子供と接する「子供クラブ」という活動も行っています。月1回、子供クラブでさまざまなプログラムを展開しています。りたいという思いで取り組んでいます。

「町の産業も紹介したい」と話す三膳さん

が何枚あるかと植物に触れるエリアがあつていい

この時期、霧多布温原

3000円の売上金で、6畳分の面積の温原が保全

2010. 11. 01

## 環境コモンズの挑戦

⑤

### 苫小牧フォーラムから

宮本英樹・NPO法人ねおす専務理事

地域力と環境保全をど

うつなぐか、地域の人た

ちの認識をどのように環

境に向けていくかについ

てお話ししたいと思いま

す。わたしは北海道の自

然を生かした新しいこと

をしたいと思い、NPO

法人ねおすに参加しまし

た。その時、父から勸当

を迫られたり、近所の人

から「自然はごにでも

あるのだから、仕事にな

るわけがない」と言われ

ました。

彼らをどう説得しよう

かと考え、なるべく地元



## 価値を求めめる人に本物提供

に小遣い程度でもお金が  
落ちるようなエコツアー  
を始めました。それがう  
まくいき、今では田舎に

帰ると「いい仕事してる  
ね」と言われます。  
僕は常に地域振興や環  
境保全をイメージしてエ

問題と人々を結び付ける  
ための道具として使うの  
していくことになる。

で、だから環境も大切に  
「エコツアーリズム」って  
発信などができる利点が  
もうかるの」と経済系の

の目玉にしようと思しま  
た。しかし、委員会がで  
きて、学識経験者から地  
域住民がブナ林をどう使  
うかが大事な問題だ」と  
言われました。

コツアーを実施していま  
す。地域住民が元気にな  
り、自分たちで何かを考  
えるようになればと考え  
ています。

あるからです。

学者に言われますけど、  
そういうものじゃない。

僕には違和感がありま  
した。町民もいろいろと  
意見を言いますけど、ブ  
ナ林に行ったことのない  
人もいます。その土地を  
利用している人が考えれ  
ば、適正な土地利用の計  
画ができる。利用者によ  
る環境管理を目指すよう  
になりました。

なぜエコツアーを環境

の、こちらも本物を求

エコツアーを始めてか

画ができる。利用者によ

「環境を大切にすると心

めなければいけない。本

ら、後志管内黒松内町に

る環境管理を目指すよう

がないうまくい」と話

す宮本さん

ある97社のブナ林を観光

になりました。

## 地域住民が元気になる活動を

### 環境コモンズの挑戦

⑥

#### 苦小牧フォーラムから

宮本英樹・NPO法人ねおす専務理事

登別市ネイチャーセン ター「ふおれすと鉱山」 その欲求に応えるよう  
 を立ち上げる時、地域住 な運営や設計をすれば、  
 民からさまざまな要望が 地域の人たちとつながっ  
 寄せられました。自由に て環境保全ができるので  
 使わせてほしいとか、お はーと感しています。  
 れたが先に使っている、 誰かが偉いのではないな  
 とか。要望は裏を返せば、 つなかりを生みやすいと  
 コミュニティーを守りた 思っています。地域住民  
 い、いろいろな人とコミ 管理者、行政であっても  
 ユニケーションを取りた 環境を利用する点では同  
 いという考えにも取れま じ利用者なんだという視  
 点。自「実現や社会参加 点でない」と、なかなか参  
 共通の思いを持っている  
 人と仲間になりたいとい  
 う欲求がすごく強いよう  
 なのです。

「自然を共有するには  
 ルール作りが大事」と  
 話す宮本さん



## 共通項で大きな目標を

加しづらと思います。 大事だと考えます。  
 自然環境について知ら いろんな目的で入って  
 ない人も多いので、利用 くる方がいますので、共  
 者の学習機会を確保す 通の大きな目標を見つけ  
 る。自然を当たり前だと する作業は、コーディネー  
 思っている人には、大切 ターにとって大切です。  
 さを知ってもらえるよう こととしては、過去の成  
 にする。そうしたことが 功例が地域内にあるかど  
 うか探して、それを共通 掘り下げて共通項を見つ  
 項にする。 けるか、NPO同士でも  
 みんなで同じ未来を見 同じです。やっているこ  
 ることは不可能だけど、 とは違うけど、環境を守  
 過去の成功例は何となく っていることは同じ。そ  
 共有しているので、あの のような共通項で、大き  
 イメージですと言った方 な目標を見つけてことが  
 が分かりやすいのかなど 大事です。

思います。 自然を共有することほ  
 こ20年くらい、個性 良いことですけど、どこ  
 が大切という教育になっ まで自由で、個人の裁量  
 たので、みんな人と違っ が認められるのが問題  
 ことを言えるようになって になってきます。コモン  
 たが、逆に同じだと言っ ズの役割ですけど、中心  
 えなくなった。どこまで になってルールなどを守  
 り、管理することが大事  
 かなと思っています。  
 コラボレーション(協  
 働)の時代と言われます。  
 これまでは共同で一つの  
 作業をするのが仲間だっ  
 たと思うのですが、今  
 は劇場で劇を作るよう  
 な、ばらばらの人と結び  
 付けて一つの何かを作り  
 上げるのが大事だと思っ  
 ています。  
 苫東の森でも、多様な  
 人を何とかまとめ、新し  
 いものを作っていく。そ  
 うしたことで、いろんな  
 人がかかわってくるのか  
 などと思います。

### 平等性、学習機会の確保が大事

(おわり)